

学校教育目標	杉の木とともに 大地に根を張り 幹を太らせ たくましく伸びる ○朽木の自然と地域の人々とともに、ふる里を愛し、ふる里を語れる ○豊かな知識や技能、自分を支える体力、粘り強い精神力や豊かな人間性を高める ○夢や目標を持ち、自分で考え自分で判断し、たくましく未来を切り拓く	昨年度の評価概要	○授業改善について、生徒がさらに意欲的・主体的な学びになるよう取り組んでほしい。個々への手立てにも期待したい。 ○学校以外の居場所が必要な生徒がいることは当たり前なので、そこを考えていきたい。不登校生徒への絶え間ない支援をお願いしたい。 ○保幼小中での研修は、12年間通した発達が見通せるのでとてもよい。 ○地域での取組に積極的に参加する生徒たちに頼もしさを感じた。今後も活躍を期待する。	中期的目標	☐ 『読み解く力』の視点を踏まえた授業づくり ☐ 目的意識と主体性を発揮できる場面の設定 ☐ 保幼小中一貫教育の発展 ☐ 朽木を愛する心を育む体験活動の推進 ☐ キャリア教育の充実 ☐ 学校運営協議会、地域学校協働本部を核とした「地域とともにある学校」の推進
--------	--	----------	---	-------	--

評価項目（指導力点）	指標：到達目標（成果指標・取組指標）	達成状況	評価		改善方策	学校関係者評価
知「学習指導」 ◎「読み解く力」を核に、生徒が意欲的、主体的に取り組む授業の創造 ◎ICTの有効活用 ◎保幼小中一貫教育を通した系統性のある学習指導 ◎家庭学習の習慣化	○「授業がわかりやすい」と答える生徒が90%以上	「授業で学習している内容は理解できている。」と答えた生徒は100%であったが、保護者は74%であった。	B	B	学習意欲を高めるための課題提示や学習方法を工夫していく。	・授業の学習内容の理解度が、生徒と保護者とで違いがあることが不思議である。100%の生徒自身が理解しているのなら問題ないかなと思うが、本当にすべての教科において、100%理解しているのか。 ・生徒が少なくなる中、朽木中独自（独特）の学習形態が必要になる。 ・保幼小中合同授業研究会や合同授業の取組は、系統的な学習指導ができ、また15才の姿を保幼からえがき、目指せることは大変重要で有意義だと思う。
	○全教科で『読み解く力』の視点を踏まえた授業改善90%以上	「読み解く力」の視点を踏まえた授業改善を行い、授業力の向上に努めた教職員は100%であった。	A		校内研究の充実を図り、朽木中独自の学習スタイルの確立を目指す。	
	○ICT機器の有効的な活用80%以上	タブレット端末を有効なツールとして活用できたと答えた生徒は96%であった。	A		ICTの有効的な活用方法について研修を重ね、さらに積極的に活用する。	
	○宿題、自主学習、読書等の家庭学習が、1日60分以上の生徒が70%以上	家庭学習の評価については、生徒は61%であったが、保護者は58%であった。	C		課題の出し方や提出の仕方を工夫・改善していく。	
	○小中合同授業（Build Up Time）、保幼小中合同授業研究会の充実80%以上	保幼小中合同授業研究会や小中合同授業の取組は、充実したものになっていたと答えた教職員は100%であった。	A		保幼小中のつながりを大切にした取組であり、今後も継続していく。	
徳「道德、生徒指導等」 ◎いじめを許さない生徒指導の推進 ◎生徒個人に寄り添った教育相談の充実 ◎豊かな人間性・社会性をはぐくむ体験活動の推進 ◎道德の授業と評価の研修	○居心地のよい学校・学級づくり（学校・学級は安心して過ごせる）90%以上	「学校は安心して過ごすことができ、楽しい。」と答えた生徒は96%、保護者の評価も95%であった。	A	A	全職員で一人ひとりを大切にした取組を継続していく。	・先生方には朽木中生の特性などよく理解してくれていると思う。学校に足を運びにくい子も、先生が良い相談相手になっていれば嬉しい。 ・スマホによるいじめや誹謗中傷、偽情報や闇バイトなど「加担しない」「騙されない」といった学びの充実を高める。 ・生徒は元気にのびのびと自由に学校生活を送っているように見える。学年関係なく仲もよい。「私の思い」発表を聞き、自分の弱いところもしっかり見つめて考えを述べていて素晴らしいと思った。
	○いじめ撲滅に向けた取組推進と、いじめ防止対策委員会の開催（毎日）	いじめの早期発見、早期対応のため毎日の情報交換、毎月の振り返りアンケートなどに取り組んでいる。	A		取組を検証しながら継続し、より良い生徒理解に努めていく。	
	○SCと連携しながら、生徒の思いに寄りそった相談活動の充実90%以上	「生徒が相談しやすい雰囲気を大切にしている。」教職員は100%、「先生は、悩みや相談事があるときは親身に対応してくれる。」と答えた生徒は100%であった。	A		SC等と連携し、生徒の思いに寄りそう教育相談を継続していく。	
	○夢や目標の達成のために努力したり、新しいことに挑戦したと答える生徒が80%以上	今年度の指導力点の一つであり、生徒も少しずつ意識ができ、生徒の肯定的な評価は96%であった。	A		生徒が目標を振り返る時間を確保し、達成感を味わえる工夫をしていく。	
	○「考え議論する道德」への授業改善90%以上	教職員の授業改善への意識は100%と高く、生徒の肯定的な評価も96%であった。	A		教材の選択や指導方法、評価の仕方など研修を重ねていく。	
体「体育・保健・部活動」 ◎生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成 ◎体力の向上と健康の増進 ◎望ましい生活習慣の育成	○部活動の意欲的な取組90%以上	生徒の肯定的な評価は100%であった。個に応じた目標を設定するなど意欲を引き出す指導が今後も重要である。	A	B	個に応じた目標を設定するなど主体的に取り組む手立てを工夫していく。	・部活動の見直しに関して、生徒たちの声を聴いていただけたらと思う。 ・中学時代は、健康な体や心を作るためにも全員部活は大切なことだと思う。週1回くらい、個に応じた活動があってもよいと思う。
	○規則正しい生活習慣の定着80%以上	生徒の肯定的な評価は82%であったが、遅くまで起きている生徒は少なくない。保護者の肯定的な評価は89%であった。	B		保護者と連携し、規則正しい生活の重要性を様々な場面で発信していく。	
地域とともにある学校 「保幼小中一貫教育、地域連携」 ◎学びの連続性を重視した教育の推進 ◎学校と地域の協働による新しい文化の創造と発信	○滑らかな接続を目指す、保幼小中一貫教育による職員の連携、協力、協働80%以上	保幼小中間での相互の授業参観や研究会を通して、連携が深められたと答えた教職員は100%であった。	A	A	今年度の取組を振り返り、より良い取組になるよう来年につなげていく。	・「地域の中にある学校」「地域の一員としての学校」「地域の一員としての子ども」と思っている。 ・学校（教師）だけでできる活動も、地域と一緒にすることが可能な内容であれば、協働したい。
	○学校運営協議会、地域学校協働活動との協働による教育活動の充実	「地域の行事に積極的に参加している。」生徒は82%であったが、地域における活動を充実させることができた。	A		学校・地域連携カリキュラムの検証と見直しを継続していく。	
	○「朽木中だより」「保健だより」「学級通信」等の発行により学校の様子がよく分かる90%以上	「学校だより」「保健だより」等を随時発行し、学校の様子を伝えてきた。保護者の肯定的な評価が100%であった。	A		学校の様子が保護者や地域の方に伝わる通信になるように工夫していく。	
「主体性、自主・自律の精神の育成」 ◎主体的な活動による自主・自律の精神の育成 ◎自主的、創造的な活動と縦割り活動の活性化 ◎地域貢献活動の推進	○学級活動、生徒会活動（行事等）、体験活動における主体的、創造的な取組90%以上	「学校行事は楽しく充実したものになっている。」と答えた生徒は、1学期・2学期ともに100%であった。	A	A	個々の生徒の良さを認め、成就感を味わえるように支援をしていく。	・「トークフォークダンス」では、朽木中生の意外な面を見られた。まさに、自主・自律の精神が備わっている。 ・総合的な学習の時間の「太鼓」は、生徒の自主性をつける一つの柱だと思う。そのためには、もう少し時間が必要だと思う。
	○縦割り集団を生かした活動(委員会・清掃)への取組90%以上	「縦割り活動を生かした活動ができた。」と答えた教職員は100%、掃除に真剣に取り組んだ生徒は100%であった。	A		3年生が1、2年生をリードし、意欲的に活動できるように支援していく。	
	○地域貢献活動への積極的な参加	地域貢献活動（通学路の掃除、花壇の植え替え、独居老人宅訪問等）に全校生徒、環境委員会で取り組んだ。	A		地域との連携を大切に、より地域に貢献できる活動内容を検討していく。	

学校関係者評価	総 評	評価	学校関係者評価を踏まえての改善点
	・小さな学校ならではの丁寧な対応、取組にいつも感謝している。これからも、生徒からの思いを引き出し、これはできる、これはできないと一緒に学校を作っていってほしい。 ・中学生あつての朽木の行事の成功ありというくらい、活躍してくれた。（中学生自身は、責任や達成感等どう感じているだろう。まだ受動的ではないだろうか？） ・地域貢献度が高く、地域の一人としての依存性と協調性が自己研鑽や充実につながっている。 ・多くの生徒が、地域の行事やこども園の行事等にボランティアで参加し、その活動を通じて貴重な体験を積んでいくことはとても有意義なことだと思う。ボランティアに望む姿勢について、指導していけるとよい。	A	○主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指して、朽木中学校独自の学習スタイルの確立に向けた校内研究に取り組む。 ○ICTの有効活用や個に応じた指導について研修を重ねていく。 ○個々の生徒を大切にした教育相談の充実を図るとともに、不登校生徒や別室登校生徒の対応は関係機関等と連携し、生徒の望ましい成長に繋がるものにしていく。 ○効果的な日課運営に努め、昼休みの活用・部活動・生徒会活動の充実を目指す。また、教職員の働き方改革を推進する。 ○総合的な学習の時間や特別活動を中心に、生徒の主体的な活動を推進し、自主・自立の精神の育成に努める。 ○学校・地域連携カリキュラムを検証し、学校運営協議会委員の方と熟議を重ね、地域との協働を進める。